

認知症作業療法 活動計画（概要）

徳島県作業療法士会では、新しい介護予防ツール“ラシーサカード”を開発し、県内への普及を目指し、会員向けの研修のみならず、一般市民に向けての体験ができる場も設けた。今年度は、阿南市からの要請に伴い、ラシーサカードの内容を基に、DVDの作成にも取り組む予定である。各地のサロンでも、ラシーサカードを使用していただけよう、準備を進めていくことにしている。

研修事業

新しい介護予防ツール“ラシーサカード”の使用マニュアル堅守会を県内の2か所で開催。ラシーサカードは、地域だけでなく、自分の所属先でも自由に使用できるものである。3回目の実施は、延期になっているが、今後も定期的にも実施する予定である。



地域貢献、啓発事業

作業療法の日啓発イベントに合わせて、ラシーサカードの体験会を実施。来場された大人だけでなく、子供にも参加して、楽しい時間を過ごしていただいた。

また、RUN伴も開催。2019年度は地域にある老人保健施設と協力し、入所者様にも参加していただくことができた。参加者も、昨年より若干ではあるが、増加している。地域での開催が根付いてきていると感じる。



地域貢献事業

県南にある阿南市から依頼を受け、サロンなどで使用するDVD作成協力をしている。ラシーサカードの内容を基に作成する予定である。DVDは市内の各サロンに配布され、ケーブルテレビやYouTubeでの配信も検討されている。



認知症普及月間における取組

専門職を対象に、認知症研修（領域別アプローチについて）を、オンライン研修にて行う予定である。

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

まず、今年度の研修事業は、Zoomを使用したオンライン研修を中心に行うが、体験を伴う研修については、検討が必要である。

阿南市とのDVD作成は、自宅でも取り組みやすいツールになると考えられるため、一人で行うことも念頭に置きながら、作成に取り組む。